



地域交流のため岡山県花「桃の花」を沖縄へ運びます ～沖縄とは趣の異なる岡山からの「春」をお楽しみいただきます～

2018年2月15日

JALグループの日本トランスオーシャン航空(以下「JTA」)は、岡山の県花である「桃の花」を今年も那覇・沖縄の島々へお届けします。これは、岡山と沖縄の交流を深めていただこうと1996年より毎年実施しているもので、今回は西大寺観光協会(岡山市、大森 後藤治 会長)から提供された約800本を輸送します。

この「桃の花」は、那覇、宮古、石垣、久米島、与那国の各空港口ビーで展示するほか、沖縄県の離島にある保育園や福祉施設にも贈呈予定ですが、JTA岡山＝那覇線就航30周年にあたる今年、贈呈元である西大寺観光協会会長が那覇を訪問し、観光協会など関係先に直接お届けし、沖縄とは趣の異なる岡山からの「春」をお楽しみいただきます。また、輸送日の2月22日には、岡山空港、那覇空港それぞれにおいて「桃の花贈呈式」を執り行います。

JALグループは、これからも地域のお客さまに愛される航空会社を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジしてまいります。

岡山県花「桃の花」の輸送 概要

輸送日：2018年2月22日(木)

対象便：JTA011便(岡山発8:30→那覇着10:35)、他

※宮古、石垣、久米島、与那国空港については同日那覇経由で各地へ輸送します。

内容：岡山県花「桃の花」約800本

お届け先：那覇空港、宮古空港、石垣空港、久米島空港、与那国空港

沖縄コンベンションビューロー、観光協会、新聞社、テレビ局、旅行会社、

保育園、幼稚園、小学校、福祉施設、銀行他企業など 合計約100箇所

各空港での展示期間：到着後約一週間の予定ですが、桃の花の状態により展示期間が短くなる場合もあります。



過去の贈呈の様子



過去の空港内展示の様子

